

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 3月 15日

事業所名 ぽかぽか広場太田

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9 75%	3 25%		スペースを確保し、学習、宿題を行えるようにしている	部屋数が少ないので、活動室をパーテーションで分ける等の工夫を検討していきたい
	2	職員の配置数は適切であるか	12 100%			職員人数は、基準人員より多く配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10 83.3%	2 16.7%		出入口に段差がある為声かけを行っている	・机の角が危ないのでガードをつける等の対応を検討したい ・利用者様のロッカーが小さいので荷物置き場の確保を行いたい ・部屋数が少ないので、パーテーションで部屋を分ける等の対応を検討したい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12 100%				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12 100%				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12 100%				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12 100%				
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12 100%			毎月外部研修を受講している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12 100%			会議を開き、職員の意見も参考にし作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12 100%				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9 75%	3 25%		職員同士で意見を出し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12 100%			・マンネリ化しないように週レクを行っている ・(土)祝はイベントを入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11 91.7%	1 8.3%		担当を決めて、活動をスムーズに行えるようにしている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10 83.3%	2 16.7%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12 100%			ミーティングを行い、送迎や支援内容について話し合いをし確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12 100%			ミーティングノートに記録を残し、全職員が共有できるようにしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12 100%			本日の様子を細かく記録している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12 100%				
関係機関 や保護者 との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8 66.7%	4 33.3%		日々の活動がマンネリ化しないようにしている	・ガイドラインの読み合わせを再度しっかりと行いより良い支援に繋げていけるようにする
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11 91.7%	1 8.3%		児童発達支援管理責任者が会議に参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11 91.7%	1 8.3%		学校お迎え時に担任の先生に伺ったり、保護者様に確認させていただいている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					医療的ケアを必要としているお子様の受け入れはしていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか					医療的ケアを必要としているお子様の受け入れはしていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11 91.7%	1 8.3%			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10 83.3%	2 16.7%			発達検査等の検査結果がない為、全体像の把握に時間がかかるので、関係機関と連携を取って行うなど対策を検討していきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10 83.3%	2 16.7%			・他の子ども達と交流を持つ中で、様々な刺激を得られると思うので関わりを持つ機会を作りたい ・児童館や近所の公園などで地域のお子様と交流する機会もある。今後はより積極的に取り入れていきたいと感じる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	10 83.3%	2 16.7%			外部の部会などの案内があれば情報収集の手段として職員にもアナウンスし積極的に参加を促している。参加した職員だけでなく他の職員にもしっかりフィードバックしていきたいと思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12 100%			送迎時や降所時等に本日の様子をお伝えしている	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8 66.7%	4 33.3%			利用者の方だけでなく家族支援を目標としているが、まだまだ出来ることは多くあると考える。職員自身が知識や技術を身につけより良い支援に繋げていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12 100%			・契約時にお伝えしている ・契約時以外でも要望があればお伝えしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10 83.3%	2 16.7%			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7 58.3%	3 25%	2 16.7%		年に1回イベント時に、親子で参加できるプログラムを考え、保護者の方同士での交流を持てるようにしている。回数が少ないので保護者の方のご負担にならないよう検討をしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12 100%			苦情があった場合は、すぐに上司に伝えるように心がけている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12 100%			通信・ブログや必要に応じてお手紙を出しお伝えしている	
	35	個人情報に十分注意しているか	12 100%			個人情報の持ち出しを禁止し、業務を行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11 91.7%	1 8.3%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7 58.3%	3 25%	2 16.7%		・イベントで近隣の公園や施設などを利用し、地域に溶け込めるよう工夫している。地域に根付いた事業所運営を目指していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12 100%			研修等もあり、とても理解しやすい	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11 91.7%	1 8.3%		年2回、避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11 91.7%	1 8.3%			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12 100%			身体拘束廃止や虐待防止の研修がとても勉強になった	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12 100%			アレルギー表を職員室、活動室に掲示し全職員が把握できるようにしている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12 100%			ヒヤリハット報告書ファイルがあり、いつでも閲覧できるようにしている	